

JACET-Kansai Newsletter

No. 42 April 14, 2008

支部長: 木村 博是 (近畿大学) (Chapter President: Hiroshi Kimura, Kinki University)
支部事務局: 〒522-8533 彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学 小栗裕子研究室内
(Chapter Office: Yuko Oguri, The University of Shiga Prefecture, 2500 Hassaka-cho, Hikone-city 522-8533)
Tel: 0749-28-8252 Fax: 0749-28-8619 E-mail: yoguri@ice.usp.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>
郵便振替口座番号(Postal Account): 00940-4-187715 大学英語教育学会関西支部

英文を書いて文法を学ぶ

支部長 木村博是

春の陽光に照らされ、華やかに咲く花と心地よい風が彩るキャンパスは、新入生の熱気で満ち溢れ、すべてのものが新しく始まります。この季節になると、私はいつも「4月は最も残酷な月・・・」(April is the cruellest month, breeding / Lilacs out of the dead land, mixing / Memory and desire, stirring / Dull roots with spring rain.)を思い出します。これはイギリスの詩人 T.S.エリオットの『荒地』(*The Waste Land*)の冒頭の部分です。

本来4月は万物が蘇る希望に溢れる季節であるはずなのに、「最も残酷な月」と言い切るこのフレーズは、思いがけない凄みのある詩句ゆえに本当に衝撃的です。新学期を迎え、関西支部会員の先生方も、この「最も残酷な月」のように衝撃的で、学生の目をハッと輝かせるような授業工夫を考えておられることでしょう。

さて、授業の一工夫として文法をどのように教えますか。解答が複数ある文法問題の解説は難しいものです。たとえば“John _____ jobs three times before he retired.”という問題の場合、この空所には had changed という過去完了と changed という単純過去のどちらも入ります。転職したのは退職よりも前のことなので、文法的には had changed が正しいのですが、before があるので過去完了にしなくても前後関係が明白なので、口語ではむしろ changed という単純過去を使用するのが一般的です。このように複数の解答がある場合、説明して理解してくれる場合と、逆に混乱させる可能性があります。1つの解答のみ教えるのか、あるいはもう1つの可能性も解説したらいいのか、ハムレットの気分になります。

あまり衝撃的ではないかもしれませんが、ちょっと効果のあった事例として、英文を書いて文法を学ぶ方法を紹介します。ライティングの授業だけでなく、リーディングでもリスニングでも応用できます。課題として毎回、テキスト中で学んだ1つの文法項目を入れた10のセンテンスを書かせ、授業時に提出させます。英文の内容は自由で、趣味のこと、時事的なこと、何でもいいのですが、必ず特定の文法事項を含んでいる

ことが条件です。そしてその英文をチェックして返しますが、よくある文法上のミスが見つければ授業で取り上げ、クラスで説明します。

実際に英文を書いて文法を学ぶ方法は、確かな文法力を身につけるのに効果的です。空所補充の文法問題を解く方法は、TOEICなどのテスト対策としてはいいかもしれませんが、やはり自分で使って書いてみる方が楽しいし、何より自作の例文で覚えた文法は頭に定着しやすいです。「この問題の解答は、・・・である」というよりも、「こういうことを伝えたいときは、英語ではこんな表現をする」という方が、ずっと覚えやすいはずです。

受動的な文法学習だけでなく、書くという能動的な「発信型の英語」という視点から、英文を書いて文法をマスターするチャンスをもっと授業の中に取り入れるのも良いかもしれません。

2008年度 JACET 関西支部春季大会のご案内

6月7日(土)、摂南大学にて2008年度春季大会を開催いたします。プログラム、発表概要等の詳細については同封の資料をご覧ください。懇親会も含めて皆様のご参加をお待ちしています。なお、懇親会への事前申し込み(締切は5月22日)に対しては割引があります。

「英語力指標研究会」からのお知らせ

本研究会では以下の要領でワークショップを開催いたします。奮ってご参加下さい。

日時: 5月31日(土) 10:00~16:00

場所: 千里金蘭大学大阪梅田キャンパス

内容: 楽しく取り組める小学校英語活動ワークショップ

参加費: 500円 定員: 30名(先着順)

申込先: 同研究会 email: funfuneigo@yahoo.co.jp

「リーディング研究会」からのお知らせ

本研究会では以下の要領で講演会を開催いたします。

日時: 6月8日(日) 13:30~15:00

場所: 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1005教室

演題: 「日本人学習者の英文読解におけるスキーマ修正過程」

講師: 卯城祐司(筑波大学大学院)

参加費: 会員500円、一般1000円(事前申込不要)

問合せ: 長谷尚弥 email: nhase@kwansei.ac.jp

JACET名簿の変更手続き方法のご案内

会員名簿上の変更は(jacet@zb3.so-net.ne.jp)まで。